

宗内寺院紹介 **16**

新御堂山
円頓止観院

宗光寺



嘉祥元年（八四八）慈覚大師により、東日枝山別当坊として草創された。建久四年（一一九三）長沼宗政公が長沼城を構え、主君源頼朝公の本願により鎌倉新御堂を移したと伝えられる。弘安九年（一一八六）七代宗光公が比叡山より盛海法印を迎え宗光寺を建立し、当山を中興した。さらに伏見帝より「新御堂山円頓止観院宗光寺」の勅額を賜り、関東の三談所として関東天台宗の中心的存在となった。天正の法難あるも天海法印当山二十世の法灯を継ぐや、宗光寺を復興し、近世には僧正寺の格式をもつ関東十談林に列せられ多くの学僧を輩出することとなる。

明治の大火により焼失した本堂・客殿は、近年建立され現在に至っている。



新御堂山
円頓止観院 **宗光寺**

住所／〒321-4539 栃木県真岡市長沼698
電話番号／0285-74-0196